

ともに励まん



2018, 5, 17 (木)

北海道旭川 永嶺高等学校 2 年次だより 第 6 号 (通巻 51 号)

絶対勉強時間不足

「平日」の家庭学習時間が「0 (ゼロ)」という人が学年の3分の1。

スタディサポートおよび進路希望調査の集計結果から分かったことです。これは驚きです。このままだと赤点続出、留年続出、進路未定卒業者続出、という悪夢のような君たちの行く先が見えてきます。

「ゼロ」とはどういうことなのでしょう？ 予習はおろか、復習も言うに及ばず、宿題やら小テスト対策やらにもほとんど無関心で、いったい何をして過ごしているのでしょうか？

「普段できていないことは、いざというときにもすぐにはできるようにはならない」。前回の警句をもじってみました。防災訓練だってそうですよね？ 訓練でできなかったことが、いざ災害に見舞われたときにちゃんと避難できるかどうか。勉強し慣れない人が、試験近くなって（あるいは3年生になって）急に何時間も机に向かえるか？ 新聞や読書の習慣なくして、小論文が書けるか？

思うに、きみたちは「やればできる」才能を持っているのに、「やらずに残念」な人たちが多い。じつに勿体ない。YDK ならぬ YNG か？（こんなところで言葉遊びをしている場合ではなかった…）。

きょうから「勉強習慣」付けよう！ 具体的には、「きょうの授業のふり返し」。たった5～6科目分だ。各教科のノートを取り出して、さっさと「今日やったところ」をふり返る。どこからどこまで進んだか、確認する。そこが第一歩、最初の一步。そしたら、「分からないところ、理解できなかったところ」が発見できるはずだ。そこを補強する。それが復習だ。分からなかったところを分かるようにすることだ。分からないままにしておくと言うことは、赤点→進路未決定でもいいってことだ。いやだよな？（たったこれだけでも1時間半くらいの勉強になる！）



それから、「予習」には、「学びのよろこび」があることをお教えしよう。

予習して授業に臨むと、「分かる」「分かりがいい」。まずそこに快感を感じる。気持ちにも余裕ができる。さらに欲も出てくる。いい循環が生まれる。「分かる」「できる」「点になる」…WDT。

キャリア集会で《やる気》出たか？

と、ここまでは9日（水）の「進路・科目選択キャリア集会」の前に書きましたが、「キャリア集会」、どうでしたか？ またムクムクとやる気が湧いてきたのではないのでしょうか？ 君たちのいいところは、こうしたきっかけがあると、素直に感応してやる気を起こしてくれるところです。それを継続してくれればもっといい！

受験を意識した取り組みを、2年生のいまの時期から始めれば第一志望に90%合格できる。3年になってから始めた人は37%の人しか合格できない。これは「統計」の示す真実。才能と可能性は、伸ばさなければ意味がない！（吉野先生） がんばれ！ 永嶺2年生 !!

保護者の皆様（お礼）

さる9日（水）の「進路・科目選択保護者説明会」には、約190名といたくさんのご来校をいただきありがとうございました。今後とも学校、学年の行事に関しまして、多くのご参加をいただけますようお願い申し上げます。（次回は9/21（金）見学旅行説明会がごさいます）

◆読書の誘（いざな）い◆

『友だち幻想』

菅野 仁・著 （ちくまプリマー新書 2008/3/6）



先月「世界一受けたい授業」で又吉直樹氏が紹介して反響を呼び、いまたいへん売れている（爆売れというらしい）そうです。

ネット上でもこれを読んだ人の高評価が並んでいます。若い人に読んでほしいと。たしかに、「友だちはなにより大切」「友だちというものは、自分のことをすべて理解してくれ、すべて受け入れてくれるもの」というのは「幻想」であって、その幻想を捨てることで人間関係、距離感がうまくつかめるようになる、という考え方に、気が楽になる人も多いかも知れません。

『人付き合い』に悩む全ての人へ、という惹句（じゃっく）も付いています。

「出版社からのコメント」として、以下のように掲載されています。

～本書は、もともとは2008年に社会学を専門とする著者が人間関係で初めてつまずきを感じる多感な年頃の中・高校生に向けて書いたものです。他者との距離感についてもう少し敏感になることで、もっと豊かな関係を築くことができると説いています。

今では学生だけでなく、老若問わず深く共感する声が多数寄せられています。と同時に、初学者向けに社会学を紹介するテキストとしても定評があり、中学から大学の課題図書や入試問題文としても繰り返し使われています。～

読みやすい新書です。どうです？ 読んでみませんか？ 読んで、考えてみませんか？

「リラ冷え」って言葉を知ってますか？

「リラ」というのは、フランス語です。香りの良い、花の美しい、落葉低木です。英語名「ライラック」の方がなじみがあるでしょうか？ かつて旭川・札幌間の特急の名前でもありました。

さて、そのライラックは、ちょうど今ごろが開花となります。しかし、「寒の戻り」のように、この時期に寒くなるときがあります。これを「リラ冷え」と言ったりします。先日、NHKの女性アナウンサーが「知らない」と言っていたが、おそらく内地出身の方なのでしょう。『広辞苑』にも、「北海道で、リラの花が咲く5月頃の、急に冷え込む日」と解説されています。

北海道出身の作家・渡辺淳一が『リラ冷えの街』という作品で、一気にこの言葉を広めたとも言われます。美しい言葉だとも言われ、すでに俳句の季語としても定着しています。

「ご当地言葉」は、訛（なまり）、方言ばかりではありません。地域特有の気象現象を、その地域ならではの言葉で言い表したものの中には、なかなか味わい深いものがあります。



「リラ冷え」ぜひ、憶えておいてくださいね。

☆☆☆来週の行事と時間割☆☆☆

5 月		行 事 等 ①②は、1 校時 2 校時をあらわします		★時間割を確認しよう						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
2 1	月	第 1 回 PTA 合同役員会	6 時間							
2 2	火		7 時間							
2 3	水		6 時間							
2 4	木	⑦ LHR（学祭細案審議＋キャリアノート 4）	7 時間							
2 5	金	朝テスト	6 時間							

公欠分のノートはしっかり補強を！ 中間考査まで2週間！

（文責 伊丸岡）